

令和6年3月14日
第4回常任委員会決定

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会

開催基本構想



自分を**超**えろ、**神**話をつくれ

島根 **かみあり**

国スポ・全スポ

2030

第84回国民スポーツ大会

第29回全国障害者スポーツ大会



第1章 島根かみあり国スポ・全スポの開催で目指すところ

1. 大会の概要

1. 国民スポーツ大会とは

国民スポーツ大会（国スポ）は、各都道府県持ち回り方式で毎年開催される国内最大のスポーツの祭典です。

【目的】

- ① 広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図ること
- ② 地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすること

【形式】

競技得点の合計を競い合う、都道府県対抗方式で開催されます。

天皇杯（男女総合成績1位）・皇后杯（女子総合成績1位）の獲得を目指し、都道府県代表選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

【実施競技】

●実施予定競技（正式競技：37 競技 ※競技得点の対象となる競技）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| ・陸上競技 | ・水泳 | ・サッカー |
| ・テニス | ・ローイング | ・ホッケー |
| ・ボクシング | ・バレーボール | ・体操 |
| ・バスケットボール | ・レスリング | ・セーリング |
| ・ウェイトリフティング | ・ハンドボール | ・自転車 |
| ・ソフトテニス | ・卓球 | ・相撲 |
| ・フェンシング | ・柔道 | ・ソフトボール |
| ・バドミントン | ・弓道 | ・ライフル射撃 |
| ・剣道 | ・ラグビーフットボール | ・スポーツクライミング |
| ・カヌー | ・アーチェリー | ・空手道 |
| ・クレール射撃 | ・ボウリング | ・ゴルフ |
| ・軟式野球 | ・銃剣道 | ・なぎなた |
| ・トライアスロン | | |

このほか得点の対象外になりますが、「特別競技」、「公開競技」、「デモンストレーションスポーツ」に区分し、多くの競技を実施します。

2. 全国障害者スポーツ大会とは

全国障害者スポーツ大会（全スポ）は、国民スポーツ大会終了後に同じ都道府県で開催される障がい者スポーツの全国的な祭典です。

【目的】

- ① 障がい者が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験すること
- ② 国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与すること

【形式】

全国から都道府県・指定都市の選手団が参加し、全国の障がい者スポーツの交流の場として、人と人との交流、地域との連帯を深める機会となります。

【実施競技】

●実施予定競技（正式競技 個人競技：7 競技）	
・陸上競技（身・知）	・水泳（身・知）
・アーチェリー（身）	・卓球（身・知・精）
・フライングディスク（身・知）	・ボウリング（知）
・ボッチャ（身）	
●実施予定競技（正式競技 団体競技：7 競技）	
・バスケットボール（知）	・車いすバスケットボール（身）
・グランドソフトボール（身）	・ソフトボール（知）
・バレーボール（身・知・精）	・サッカー（知）
・フットソフトボール（知）	

このほか「オープン競技」という区分を設け、多くの競技を実施します。

2. 当県における大会開催の意義

1982年に開催された「くにびき国体」、「ふれあい大会」から48年

2030年に開催を予定する第84国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会「島根かみあり国スポ・全スポ」を機に私たちが描く未来

オール島根で島根愛を醸成し、スポーツを通して豊かな人と地域を創る
“島根創生の実現を目指して”

本大会では、県民一人一人が参加し協力するなかで、得られる感動や達成感を共有する時間が、地域・年齢・性別・障がいのあるなしを超えた繋がりを創る好機になると考えます。

また、大会に向け県民が一体となって取り組む力を体感し、島根県を代表する選手が躍動する姿を見ることで、将来に続く希望を育む推進力にしたいと考えます。

そして、スポーツを通じた人づくり、郷土愛や地域への誇りを醸成していくことで、活力に満ち、誰もがともに支え合うなかで「笑顔」あふれる地域を目指すために、4つの項目に取り組みます。

1. スポーツを通じて人と地域をつくる大会

○スポーツに親しむ環境づくり

県民が「する」、「みる」、「ささえる」など様々な立場でスポーツを身近に感じ、触れられる環境を整備することで、地域コミュニティの維持・発展、健康増進につながります。

○スポーツの普及・推進

前回くにびき国体を契機に地域に根ざした奥出雲町のホッケーや美郷町のカヌーのように、地域や学校等との連携により、スポーツに関わる人材を育成するとともに、その受け皿をつくることで、地域に活力を生み出します。

2. とともに支え合う社会を推進する大会

○共生社会の推進

若者から高齢者、障がいのあるなしに関係なく、誰もが日常的にスポーツを楽しむことができる環境づくりに努めます。

○障がい者への理解促進

全ての人と一緒にスポーツを楽しむことで、絆を育み、お互いを理解し、支え合う意識をもてる社会を目指します。

3. 環境に配慮したコンパクトな大会

○環境負荷の低減

既存施設の改修や隣県施設の活用、リサイクル等による環境へ与える負荷を低減することを考慮し、準備に取り組みます。

○多様な人との協働

大会を運営する関係団体だけでなく、その他企業・団体や県内外からのボランティアなど、多様な人々と協働することで効率的な大会運営を目指します。

4. 地域活性化につながる大会

○県民一人一人によるおもてなし

県民総参加で大会を盛り上げるとともに、全国各地から来県される方々を心のかもったおもてなしで迎えることで、大会を通じて島根ファンを増やすことにつながります。

○島根県の多彩な魅力の発信

島根が誇る自然、歴史、伝統芸能や伝統工芸などの文化・芸術及び食やサービスについて情報を発信していくとともに、触れられる機会をつくります。